

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【公開番号】特開2012-161024(P2012-161024A)

【公開日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-033

【出願番号】特願2011-20776(P2011-20776)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

G 0 3 G 21/00 3 7 6

G 0 6 F 3/12 K

G 0 6 F 1/00 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動作条件に従って画像処理を実行する画像処理装置であって、

印刷モードの使用状況を算出する算出手段と、

前記算出手段で算出した使用状況に基づいて、設定すべき動作条件を決定する決定手段と、

前記動作条件が設定された場合に電力量がどのくらい変化するかを算出する電力量算出手段と、

前記動作条件と電力量がどのくらい変化するかとを表示する表示手段と、

前記動作条件の設定の指示をユーザから受ける指示受付手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記算出手段は、

印刷ジョブを解析して印刷モードの使用回数を測定する測定手段と、

前記測定手段により測定された印刷モードの使用回数と前記画像処理装置で実行された印刷回数に従い印刷モードの使用率を算出する算出手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、前記電力量算出手段で算出した電力量と、前記決定手段で決定した動作条件と、当該動作条件を設定するか否かを指示するための指示情報とを含む確認画面を

表示することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記表示手段が表示した動作条件を設定するか否かを指示するための指示情報に対するユーザからの指示に従い、動作条件の設定を制御する制御手段を備えることを特徴とする請求項 3 記載の画像処理装置。

【請求項 5】

印刷処理に用いられるデータの画像処理を実行する複数の画像処理部を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記動作条件に従い、前記複数の画像処理部のうち、少なくとも 1 つの画像処理部への電力供給を制御する電力制御手段を備えることを特徴とする請求項 5 記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記電力量算出手段は、消費電力の削減率を算出し、

前記表示手段は、前記動作条件と前記削減率とを表示することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記決定手段は、現在設定されている動作条件と前記使用率とを比較して、設定すべき動作条件を決定することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

動作条件に従って画像処理を実行する画像処理装置であって、

印刷モードの使用状況を算出する算出手段と、

前記算出手段で算出した使用状況に基づいて、設定すべき動作条件を決定する決定手段と、

前記動作条件が設定された場合に電力量がどのくらい変化するかを算出する電力量算出手段と、

前記動作条件と電力量がどのくらい変化するかを送信する送信手段と、

前記動作条件の設定の指示を受信する受信手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 10】

動作条件に従って画像処理を実行する画像処理装置の制御方法であって、

印刷モードの使用状況を算出する算出工程と、

前記算出工程で算出した使用状況に基づいて、設定すべき動作条件を決定する決定工程と、

前記動作条件が設定された場合に電力量を算出する電力量算出工程と、

前記決定工程で決定した変更すべき動作条件と、前記電力量算出工程で算出した電力量とを表示する表示工程と、

前記動作条件の設定の指示をユーザから受け付ける指示受付工程と、

を有することを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の画像処理装置の制御方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的を達成する本発明の画像処理装置は以下に示す構成を備える。

動作条件に従って画像処理を実行する画像処理装置であって、印刷モードの使用状況を

算出する算出手段と、前記算出手段で算出した使用状況に基づいて、設定すべき動作条件を決定する決定手段と、前記動作条件が設定された場合に電力量がどのくらい変化するかを算出する電力量算出手段と、前記動作条件と電力量がどのくらい変化するかとを表示する表示手段と、前記動作条件の設定の指示をユーザから受ける指示受付手段と、を備えることを特徴とする。